

# 熊本地震の教訓



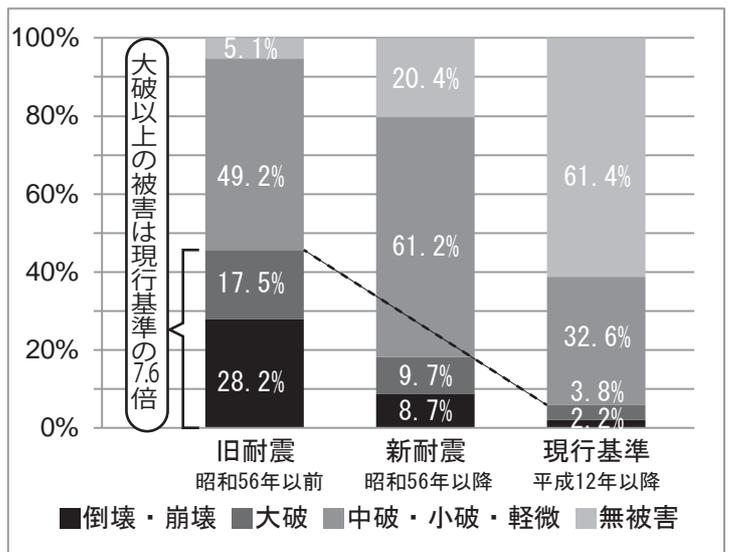
備えておけば  
よかったね

## あなたの家は大丈夫ですか？

平成28年4月に発生した熊本地震により、数多くの建築物が被害を受けました。これまでの分析によって被害原因が特定されてきています。これからできる耐震対策のポイントをまとめましたので、ご活用ください。

### 木造建築物被害

旧耐震基準(昭和56年以前に建築されたもの)については、新耐震基準や現行基準のものに比較して被害を受ける可能性が非常に高くなっています。旧耐震基準で建築されたものは、耐震診断及び耐震補強を行うことが重要です。また、耐震等級3(通常の1.5倍の耐震強度)の住宅は無被害又は軽微な被害であったことから、基準以上で余裕のある設計とすることが重要です。



木造建築物の建築時期別の被害状況\*

### ブロック塀被害

熊本地震では数多くのブロック塀が倒壊し、死亡者が出ています。地震時に大きな被害が生じているのは、施工不良や経年劣化によるものと考えられます。不適切なブロック塀が倒れて人の命を奪うことになれば、所有者としての責任を問われる可能性があります。適切な補強や改修を行うことが重要です。



道路側へ倒壊したブロック塀\*

### よう壁被害

熊本地震では敷地を支えるよう壁が倒壊しています。特に石積のよう壁は倒壊した事例が多く、よう壁に近接した建築物の被害が拡大しています。よう壁の構造を鉄筋コンクリート製にするなど、より耐震性のある構造とすることが重要です。



倒壊した石積のよう壁\*

\*出典：「熊本地震における建築物被害の原因分析を行う委員会報告書」（国土技術政策総合研究所）  
(<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/topics/2016/index.html>) を加工して作成

# ☑ 自己診断 簡易チェックシート

診断結果に不安を感じたら建築士などの専門家に相談しましょう!

## 建築物の診断

詳しくは「誰でもできるわが家の耐震診断」を参照※

### 問1 建設時期について

- 建てたのは昭和56年6月以降ですか？

### 問2 増築・改修について

- 建築確認など必要な手続きをして増築を行っていますか？改修時に壁や柱の一部撤去は行っていませんか？

### 問3 傷み具合や補修について

- 老朽化や腐朽、白蟻の被害について点検を行い、補修を行っていますか？

※「誰でもできるわが家の耐震診断」(一般財団法人 日本建築防災協会)

[http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/kodate/wooden\\_wagaya.html](http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/kodate/wooden_wagaya.html)

## ブロック塀の診断

詳しくは「お宅のブロック塀は大丈夫？」を参照※

### 問1 塀に補強について

- 塀の中に9mmの鉄筋が縦横80cm間隔に入っていますか？  
装飾ブロック部分は鉄筋が入っていないと考えられます。

### 問2 塀の傾き、ひび割れについて

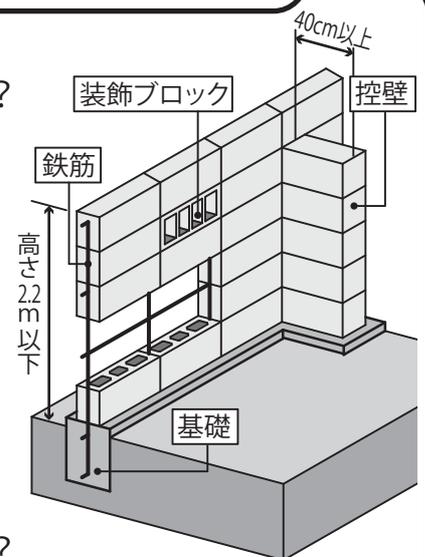
- 塀が傾いていたり、ひび割れたりしていませんか？また、鉄筋が錆びていないですか？

### 問3 塀の高さについて

- 塀の高さは、地面から2.2m以下ですか？

### 問4 控壁について (塀の高さが1.2mを超える場合)

- 塀長3.4mごとに突出長さ40cm以上の控壁がありますか？



※「お宅のブロック塀は大丈夫？」(福岡県建築都市部建築指導課)

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/burokkuhei.html>

## よう壁の診断

### 問1 構造について

- 確認申請など必要な手続きをして築造していますか？よう壁にコンクリートブロックを使ったりしていませんか？また、既存のよう壁に増積みを行っていますか？

### 問2 劣化・変形について

- よう壁が風化したり、鉄筋が錆びていませんか？ひび割れやふくらみなど不自然な変形はありませんか？

